

増田福太郎博士関係資料一斑（三訂稿）

—日本統治下台湾宗教史の一齣—

令和 4（2022）年 7 月 22 日（金）現在

（作成経緯）

- HP 初出：
- ・平成 30（2018）年 8 月 7 日（火）初稿作成
 - ・令和 3（2021）年 11 月 22 日（月）改訂稿作成
（レイアウトを全面変更するとともに一部補正した。）
 - ・令和 4（2022）年 4 月 1 日（金）再訂稿作成
（一部補正の上、『CD 版 宮崎道三郎博士・小林宏先生・西村稔先生・高橋由利子先生略年譜・著作目録【参考篇】
【附篇】一ローマ法・法制史学者著作目録選（第十五輯）
一』（令和 4（2022）年 4 月 1 日刊）に収録した。）
 - ・令和 4（2022）年 7 月 22 日（金）三訂稿作成
（一部補正した。）

（前記：再訂稿は平成 30（2018）年暮に他用をもって作成したものの修正稿であるが、当初成稿については柴田幹夫先生の御懇篤な御指導、御高配を賜った。謹んで厚く御礼申し上げます。）

〔目 次〕

1 はじめに	1
2 増田福太郎博士履歴資料	2
3 増田福太郎博士略年譜	3
4 増田福太郎博士研究文献	5
(1) 邦文文献	5
(2) 中文文献	5
【参考 HP】	6
【関係 HP】	9

1 はじめに

増田福太郎博士（1903～1982、以下敬称略）は寛克彦博士（1872～1961）¹門下の法学者である²が、昭和 4～14（1929～1939）年の在台十年を通して台湾宗教、高砂族研究に

¹ 「寛克彦博士略年譜・著作目録」参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf>〉

² 「東大大学院学生として、先生に法理学の指導を受けた者としては、私が最後であろうか。」増田『法原理序論（著作 VII）』（佐野書房、昭和 44 年 4 月 1 日刊）はしがき。寛博士は昭和 8（1933）年 3 月東大法学部教授停年退官。

についても大きな業績を残していることから、日本統治下台湾宗教史を考える上において忘れてはならない学者である。個人的には昔たまたま『台湾の宗教—農村を中心とする宗教研究—』（養賢堂、昭和 14 年 6 月 20 日刊）を読んだことから同氏に関心を持ったが、平成十年代に鷺巣敦哉（1895～1942）検討の絡みで『台湾警察協会雑誌』『台湾警察時報』総目録』（緑蔭書房、平成 10 年 8 月 25 日刊）を検索していた際に同誌にもかなりの寄稿をしているのを見て、台湾警察史検討の面からも調べる必要を感じていた。

このため、本稿において、その年譜及び関係研究文献等について初歩的整理をすることとした。増田福太郎研究が今後更に進捗することを期待したい。ただし、呉豪人氏「植民地の法学者たち—「近代」パライソの落とし子」『岩波講座「帝国」日本の学知 第 1 巻「帝国」編成の系譜』（岩波書店、平成 18 年 2 月 24 日刊）165 頁によれば増田貞次氏（増田令息）『増田福太郎略伝』（私刊本、平成 15 年刊）があるとのことであるが、遺憾ながら諸般の事情で見ることが出来ず、このため、本稿では増田自身の著作³、事典類、国立公文書館デジタルアーカイブ等ネット資料等に基づき記載するにとどめざるを得なかったことをお断りしておく。その他不備な点も多々存在することから、大方の御示教を切にお願いいたしますものである

2 増田福太郎博士履歴資料

- ・増田『法学序説』（巖松堂書店、昭和 11 年 9 月 5 日刊）自序：同書 86 頁に「著者の法政に関する諸稿（目録）昭和 11 年 8 月現在」として 16 論文名を掲載。
- ・増田『東亜法秩序序説—民族信仰を中心として—』（ダイヤモンド社、昭和 17 年 4 月 30 日刊）：奥付上部に「著者紹介」あり。
- ・増田『南方民族の婚姻』（ダイヤモンド社、昭和 17 年 9 月 10 日刊）：奥付上部に「著者紹介」あり。
- ・増田・堀一郎（1910～1974）共著『東亜宗教の課題』（大東亜文化建設第 2 冊、国民精神文化研究所、昭和 17 年刊）
- ・増田『原始刑法の探求』（ダイヤモンド社、昭和 19 年 3 月 10 日刊）：奥付上部に「著者紹介」あり。
- ・増田『未開社会における法の成立』（岡山大学法経学会、昭和 32 年 11 月 3 日刊）：公刊：三和書房、昭和 39 年 3 月 20 日刊、奥付上部に「著者略歴」、「主要著書」あり。
- ・増田『民法総論—私法関係序説—』（三和書房、昭和 38 年 10 月 5 日刊）：奥付上部に「著者略歴」あり。
- ・増田『中国の俗信と法思想』（三和書房、昭和 41 年 7 月 10 日刊）：奥付上部に「著者略歴」あり。
- ・増田『法原理序論（著作 VII）』（佐野書房、昭和 44 年 4 月 1 日刊）：223～224 頁に「著者略歴」、「主要著書」あり。
- ・増田『事物相関論の諸相（著作 XII）』（佐野書房、昭和 48 年 6 月 25 日刊）：175 頁～

³ 特に『事物相関論の諸相（著作 XII）』（佐野書房、昭和 48 年 6 月 25 日刊）及び『思想と実践（法政と宗教）』（佐野書房、昭和 54 年 3 月 25 日刊）に拠る。

186 頁に「附記 法学五十年 (論著名)」(昭和 3 (1928) 年～昭和 48 (1973) 年の著作目録) あり。187～188 頁に「筆者の学歴」あり。奥付上部に「著者略歴」、「主要著書」あり。

・増田『思想と実践 (法政と宗教)』(佐野書房、昭和 54 年 3 月 25 日刊) : 193 頁に「著者のプロフィール」あり。194～195 頁に「著者の学歴」あり。196 頁に「著者による主要学術書 (最近 10 年間)」あり。奥付上部に「著者略歴」あり。

・『台湾総督府報』〈<http://ds3.th.gov.tw/ds3/app007/index.php>〉

・『台湾総督府及附属官署職員録』(昭和 4～14 年分)

・『現代日本執筆者大事典』第 4 巻 (日外アソシエーツ、昭和 54 年 3 月 1 日刊) 235 頁

・『現代日本執筆者大事典 77/82』第 4 巻 (日外アソシエーツ、昭和 59 年 8 月 25 日刊) 230 頁

・荻野富士夫 (1953～)『戦前文部省の治安機能—「思想統制」から「教学錬成」へ』(校倉書房、平成 19 年 7 月 20 日刊)

3 増田福太郎博士略年譜

明治 36 (1903) 年 6 月 25 日 新潟県中頸城郡高田町 (現上越市) に生まれる。10 年後上京

大正 9 (1920) 3 月 東京府立第一中学校第四年修了

大正 12 (1923) 年 3 月 第一高等学校文科甲類卒業

昭和 2 (1927) 年 3 月 東京帝国大学法学部法律学科卒業

昭和 4 (1929) 年 3 月 東京帝国大学大学院満期退学 (「法理学」)

「法学部卒業後、大学院に於て法理学を専攻してみた」(増田『法学序説』(巖松堂書店、昭和 11 年 9 月 5 日刊) 自序)

同年 4 月 渡台、台湾総督府嘱託 (文教局社会課嘱託、昭和 4 年 4 月～昭和 5 年 3 月「宗教調査」)

・法理学を専攻していた増田が何故に昭和 4 (1929) 年 4 月に渡台して宗教事務に携わったかが興味深い。当時の台湾総督府文教局長は寛博士高弟の石黒英彦 (1884～1945、昭和 2 年 2 月就任、その後同 4 年 8 月同内務局長、同 6 年 5 月奈良県知事) であり、あるいはその関係か?、要検討。

・増田本人は著書奥付の「著者紹介」で「台湾総督府宗教調査事務主任」といつている。ただし、正式には督府文教局社会課嘱託か。おそらく最初は本官でなく嘱託で赴任し、台湾総督府の宗教調査事務に従事したと思われる。

・当時の宗教調査事務については井出季和太⁴ (1880～?)『台湾治績志』(台湾日日新報社、昭和 12 年 2 月 23 日刊) 596、1004 頁参照。

「・・大正四年台湾本来の宗教の系統沿革等の調査を為し、後調査事業は暫らく中絶したが、昭和四年度には経費一万六千三百円を以て宗教の内容、寺廟財産の管理、僧侶、道士

⁴ 井出につき〈<https://jahis.law.nagoya-u.ac.jp/who/docs/who8-1088>〉参照。(令和 3 年 11 月 22 日追加)

の分限、其の他の調査に従事したことがある。然れども中央政府財政緊縮政策の為に僅かに四ヶ月で已むなく之を中止したが、本調査は社会風教上の重大問題であるから財政の許す上に於ては之を実施する方針である。」(1004 頁)

- ・増田は昭和 4 (1929) 年春に渡台し、その後すぐ寺廟調査に行っている。

- ・蔡錦堂 (1951～)『日本帝国主義下台湾の宗教政策』(同成社、平成 6 年 4 月 15 日刊)には昭和 4 年の宗教調査事務には言及していない。

昭和 5 (1930) 年 4～7 月 台北帝国大学講師

昭和 5 (1930) 年 7 月 22 日 台北帝国大学助教授 (理農学部)、叙高等官七等 (農業法律学、法律学概論を担当。～昭和 14 年 4 月)

- ・同年 8 月 1 日現在の住所: 台北市東門町 150 (上記『職員録 昭和五年』255 頁)

昭和 6 (1931) 年 5 月 2 日 兼任台北帝国大学附属農林専門部教授を兼任 (～昭和 14 年 4 月 13 日。農業法規の講義を担当)

「私は昭和五年以来、台北帝国大学理農学部に於て農業法律学の講義を、同学附属農林専門部に於て農業法規の講義を担当し来つた。」(増田『農業法律講義』養賢堂 (昭和 13 年 5 月 25 日刊) 自序)

- ・同年 8 月 1 日現在の住所: 台北市昭和町 46 (上記『職員録 昭和六年』263 頁)、以後離台まで同地に居住か。

昭和 14 (1939) 年 内地に帰任、国民精神文化研究所員 (品川区上大崎長者丸 284、～昭和 18 年 10 月「法理学」)

- ・「思想国防」のための同研究所政科増員によるものか (荻野前掲 226 頁)。

- ・昭和 13 (1938) 年 12 月 24 日北海道庁長官であった上記石黒英彦が文部次官に就任している (荻野前掲 208 頁も参照。石黒は昭和 14 年 9 月依願免本官。) が、これと増田の国民精神文化研究所入りは関係あるのか。要検討。

昭和 15 (1940) 年 10 月 兼府立高等学校講師 (～昭和 17 年 3 月)

昭和 16 (1941) 年 2 月 1 日 叙高等官三等

同年 4 月 兼國學院大學講師 (～昭和 19 年 3 月)

昭和 17 (1942) 年頃 「台湾総督府宗教事務嘱託を兼ね」(増田『原始刑法の探求』(ダイヤモンド社、昭和 19 年 3 月 10 日刊) 奥付に拠る。)

昭和 18 (1943) 年 11 月 1 日 行政機構簡素化に伴う国民精神文化研究所の教学錬成所改組により教学錬成所錬成官 (～昭和 20 年 7 月)

昭和 20 (1945) 年 月日空白 (4 月 7 日以降) にて満洲国教学錬成所所員に就任のための退官願を鈴木貫太郎首相宛に提出 (国立公文書館デジタルアーカイブに拠る。) ⇒満洲国には結局赴任せずか? 要検討。

同年 6 月 30 日 叙正五位、叙高等官二等

同年 7 月 1 日 依願免本官、叙従四位、

同年 10 月 叙勲五等瑞宝章

同年 11 月 善隣外事専門学校教授 (～昭和 21 年 7 月)

昭和 21 (1946) 年又は昭和 22 (1947) 年又 この前後のこと要検討。(呉豪人前掲「植民地の法学者たち—「近代」パライソの落とし子」154 頁) ⇒その後農林省 (開拓政策一

般)、新潟県嘱託(渉外事務)(令和年 11 月 22 日一部補正)

昭和 28 (1953) 年 4 月 長崎大学商業短期大学部教授(～昭和 31 年 4 月、「民法」)

同年 10 月 兼長崎大学経済学部講師(～昭和 31 年 5 月)

昭和 31 (1956) 年 5 月 岡山大学法文学部教授(～昭和 40 年 4 月、「民法」、「法理学」)
(住所:岡山市津島岡山大学法文学部官舎)

昭和 36 (1961) 年 12 月 26 日 法学博士の学位授与(旧制、京都大学、「未開社会における法の成立」)

昭和 37 (1962) 年 5 月 岡山大学附属図書館長併任・同評議員(～昭和 39 年 4 月)

昭和 40 (1965) 年 4 月 福岡大学法学部教授(～昭和 49 年??月、「法理学」、「民法」)

昭和 44 (1969) 年 12 月 福岡大学法学部長(～昭和 46 年 12 月)

昭和 48 (1973) 年 亜細亜大学講師(非常勤、「民法」)

昭和 49 (1974) 年 亜細亜大学法学部教授

昭和 57 (1982) 年 11 月 15 日 逝去

4 増田福太郎博士研究文献

(1) 邦文文献

・頼松瑞生(1967～)「東洋法理より見たる日本法理—増田福太郎の法思想—」『法學政治學論究』第 21 号(平成 6 年 6 月??日刊) 351～387 頁

〈<http://jairo.nii.ac.jp/0050/00039119>〉

・呉豪人「植民地の法学者たち—「近代」パライソの落とし子」『岩波講座「帝国」日本の学知 第 1 巻 「帝国」編成の系譜』(岩波書店、平成 18 年 2 月 24 日刊) 123～169 頁

・松平徳仁「植民地主義と立憲主義の齟齬と共振—二つの「台大憲法学」を素材に」酒井哲哉・松田利彦編『帝国日本と植民地大学』(ゆまに書房、平成 26 年 2 月 25 日刊) 187～218 頁(202 頁)

・西田彰一「植民地における筧克彦の活動について—満州を中心に—」『総研大文化科学研究』第 12 号(平成 28 年 3 月刊) 37～53 頁(38、49 頁)

・(参考)増田渡台頃の『神ながら 皇学会雑誌』に筧克彦博士の下記台湾関係論稿 4 編が収録されているが、増田とのつながりを示すものはない。「台湾旅行談」(第 3 巻第 3 号、昭和 5 年 3 月 10 日刊) 51～56 頁、「国体精神と台湾」(第 3 巻第 4 号、昭和 5 年 4 月 10 日刊) 41～50 頁、「台湾神社の御祭神について」(第 4 巻第 5 号、昭和 6 年 6 月 1 日刊) 21～66 頁、「紀元二五九一年三月二十七日台湾なる友に寄す」(歌。第 4 巻第 6 号、昭和 6 年 7 月 15 日刊) 81 頁

・「台湾宗教史研究の先駆者—増田福太郎博士関係資料一斑—」『アジア遊学』222(柴田幹夫編『台湾の日本仏教 布教・交流・近代化』、勉誠出版、平成 30 年 8 月 17 日刊) 170～175 頁

〈http://bensei.jp/index.php?main_page=product_book_info&products_id=100908〉

(2) 中文文献

- ・蔡錦堂「台湾宗教研究先驅増田福太郎与台湾」中華民國史專題討論会秘書处編『20 世紀台湾歷史与人物』（新店・国史館、2002 年刊）
- ・林美容、林承毅「從台湾人類学史来看増田福太郎的台湾研究」『増田福太郎与台湾研究紀念研討会論文集』（南港・中央研究院民族研究所、2003 年 12 月刊）
- ・吳蒙人「凡庸之惡—「法」学者寛克彦与増田福太郎」『法律哲理与制度（基礎法学）—馬漢宝教授八秩華誕祝寿論文集』（元照出版、2006 年 1 月刊）
- ・李進億「評介 増田福太郎著《台湾の宗教—農村を中心とする宗教研究》」『台北文献（直字）』177 期（2011〈民国 100〉年 9 月刊）257～284 頁
- ・吳豪人『殖民地的法学者 「現代」樂園的漫遊者群像』（国立台湾大学出版中心、2017 年 4 月刊）⇒「第四章 敗者の精神史：「凡庸之善」姉齒松平与「凡庸之惡」増田福太郎」（163～208 頁。姉齒松平：1885～1941）

(

【参考 HP】（令和 3 年 11 月 15 日全面差替、同年 12 月 30 日、同 4 年 7 月 22 日各一部修正）

* 法制史学会 HP（平成 14（2002）年 10 月 5 日公開、平成 24（2012）年 4 月 1 日移転）

〈<http://www.soc.nii.ac.jp/jalha/toppage.htm>〉⇒

（新）〈<https://www.jalha.org/>〉

・〈<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E4%B8%8A%E5%B1%B1%E5%AE%89%E6%95%8F>〉

* 全体 HP

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>〉

・「日本のローマ法」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Romanist2003.htm>〉

・「法制史学者著作目録選（WEB 版）」

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>〉

・本 HP 別稿：宮崎道三郎博士略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/miyazaki001.pdf>〉

・本 HP 別稿：池辺義象氏著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ikebe001.pdf>〉

・本 HP 別稿：中田薫博士関係資料抄

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakata001.pdf>〉

・本 HP 別稿：内藤吉之助教授略年譜・著作目録

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/naito001.pdf>〉

・本 HP 別稿：金田平一郎博士略年譜・著作目録

〈<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kaneda001.pdf>〉

- ・ 本 HP 別稿：小早川欣吾先生略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa001.pdf>>
- ・ 本 HP 別稿：「小早川欣吾先生記念メダルによせて
 ー小田輝子氏「叔父小早川欣吾の思い出」とともにー」
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/odateruko.pdf>>
- ・ 本 HP 別稿：『小早川欣吾先生東洋法制史論集』収録論稿目次その他
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayakawa_toyohoseishi.pdf>
- ・ 本 HP 別稿：牧英正博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/maki001.pdf>>
- ・ 本 HP 別稿：小林宏先生著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kobayashi001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：千賀鶴太郎博士著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/senga001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：戸水寛人博士著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tomizu001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：春木一郎博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/haruki001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：原田慶吉教授略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/harada2003.htm>>
- ・ 本HP別稿：船田享二博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/funada2003b.htm>>
- ・ 本HP別稿：田中周友博士略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tanaka2003b.htm>>
- ・ 本HP別稿：栗生武夫先生略年譜・著作目録
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu001.pdf>>
- ・ 本 HP 別稿：「栗生武夫先生『婚姻法の近代化』の中訳本について」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_chuhon.pdf>
- ・ 本 HP 別稿：「『栗生武夫先生随筆拾遺』作成の思い出
 ー『栗生武夫先生随筆拾遺ー栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯』ー」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui.pdf>
- ・ 本HP別稿：「PDF版『栗生武夫先生随筆拾遺ー栗生武夫先生単行本未収録論稿集第一輯ー』」
 <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kuryu_zuihitsu_shui_002.pdf>
- ・ 本HP別稿：西本颯博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimoto001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：久保正幡博士著作目録等抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kubo001.pdf>>
- ・ 本HP別稿：井上周三教授関係資料抄
 <<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/inoue001.pdf>>

- ・本HP別稿：上山安敏先生著作目録等抄
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/ueyama001.pdf)
- ・本HP本別稿：寛克彦博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP別稿：近藤英吉博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kakei001.pdf)
- ・本HP本稿：増田福太郎博士関係資料一斑
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/masuda001.pdf)
- ・本HP本稿：山崎丹照先生著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yamazaki001.pdf)
- ・本HP別稿：戴炎輝博士略年譜・著作目録
[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Tai_Yen-hui001.pdf)

＊和田徹氏HP「私立玉川用賀村中央図書館（新館）」

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/)

・春木一郎電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/haruki.htm)

・原田慶吉電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/harada.htm)

・栗生武夫電子文庫（和田徹氏寄贈図書）

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/kuryu.htm)

・いろいろ電子文庫

[〈http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm〉](http://home.q02.itscom.net/tosyokan/iroiro.htm)

・PD 図書室（「梅雨空文庫」のデータを整理してまとめたもの）

[〈http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html〉](http://books.salterrae.net/about/tuyuzora.html)

（註）早くには「船田享二電子文庫」の平成22（2010）年開設予告もなされていた（平成14〈2002〉年12月14日初出か?）が、その後平成18（2006）年6月3日に「2006/06/03 船田享二電子文庫計画中止」の表示が出た。

＊「西村稔先生（1947～2019）年譜・著作目録（阪本尚文編）（初版）（2020（令和2）年4月現在）」⇒爾後逐次改訂⇒（最新版：令和4（2022）年5月現在第7稿掲載）

[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nishimura001.pdf)

（註）本著作目録は、阪本尚文編『Aún aprendo それでもまだ学ぶぞ——西村稔先生追悼集』（私家版、2020（令和2）年2月28日刊〈福島大学学術機関情報リポジトリ所収〈<http://hdl.handle.net/10270/5154>〉〉に収録した「西村稔先生年譜・著作目録」に逐次修正を加えつつあるものである。

【関連 HP】（令和 3 年 11 月 15 日全面差替、同 4 年 4 月 1 日、7 月 22 日各一部修正）

- ・法制史学会：〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館：〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和 4（2022）年 5 月 19 日開始）
〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー
〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉
- ・CiNii: 〈<https://ci.nii.ac.jp/>〉 ⇒ 〈<https://cir.nii.ac.jp/>〉（【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、〈<https://ci.nii.ac.jp/books/>〉
